

各省庁・金融機関・地方公共団体・支援機関・企業・学生等が直接対話する場！

第20回 霞が関Dialog

CONTENTS

「地方への人の流れの創出・拡大」に向けた二地域居住の促進

コロナ禍を経て、多様な暮らし方・働き方が広まり、「二地域居住」へのニーズが高まっている。令和6年には、二地域居住の促進に向けた改正法が成立・施行するとともに、官民が連携して二地域居住を促進するためのプラットフォームが設立された。プラットフォームや国の支援メニューをはじめとした二地域居住促進施策について紹介する。

地域経済の見える化に向けた取り組み

地方創生の実現に向けては、地域の実情について、データを活用して見える化し、地域の多様な関係者がデータに基づいて企画・立案することが重要である。今回は、政府が提供する、RESAS(リーサス)やRAIDA(レイダ)を活用した、地域データの利活用拡大に向けた取組について紹介する。

中小企業の省力化・デジタル化に向けた支援策

少子高齢化による構造的な人手不足が進展しており、2024年は人手不足倒産が過去最多を記録するなど、人手不足は地域の中小企業にとって短期的・中長期的に重要な課題となっている。対策として必要な企業の生産性向上にむけて、省力化投資補助金やIT導入補助金等の支援策について紹介する。

GUEST SPEAKER



酒井 達朗

国土交通省 国土政策局
地方政策課
地域づくり活動推進官



田切 麻紀子

内閣府 地方創生推進室
ビッグデータチーム
参事官補佐



村上 大知

中小企業庁
経営支援部
生産性向上支援室
係長

TIME SCHEDULE

- ▶ 18:30 - 18:35 開催挨拶
 - ▶ 18:35 - 19:05 各省庁担当者 説明
 - ▶ 告知ピッチ
- 以下の施策を各グループセッション前に紹介

①内閣府地方創生推進室

データ利活用の普及促進に向けた取組について

②中小企業庁

直近の中小企業向けの補助金について

- ▶ 19:10 - 19:30 グループセッション①
 - ▶ 19:35 - 19:55 グループセッション②
 - ▶ 19:55 - 20:00 クロージング
- グループセッション
登壇者と参加者、参加者同士の**双方向**の対話

日程

2025. 2. 26

水

18:30→20:00
(OPEN18:20)

オンライン(Zoom)

参加費無料

対象

金融機関・地方公共団体・支援機関・企業・学生等
地域課題解決に**熱い想い**を持つ方
各種施策に興味のある方 **どなたでも参加可**

申込方法

締切:2月25日(火)17時まで

- ▶ 右記QRコードから申込フォームへ
<https://forms.office.com/r/j05rrda8Xu>
- ▶ 参加のオンラインURLは、別途ご案内いたします

